

教材・支援機器活用実践事例

【活動の流れを知ること、気持ちを切り替え、自己調整する力を養う指導】

	実施年度	平成29年度
授業について	教科名等	自立活動
	単元・題材名	落ち着いて話を聞こう
	授業における教師のねらい	○行事や集団で行う学習に見通しをもって、落ち着いて参加することができる。
	授業における子どもの目標	○行事や集団学習でやるのが分かり、落ち着いて参加することができる。
子どもについて	学級・学校・学年	特別支援学校(知的) 高等部 3 学年
	対象の障がい	知的障がい ・ 自閉症
	授業の形態	個別指導
学習上又は生活上の困難さ	子どもの特性や教育的ニーズ	○場面や状況を理解した上での適切な判断や行動が難しく、情緒が不安定になりやすい。情報を正しく整理、理解し、活動の流れを知ることができたり、気持ちを切り替えながら自己を調整することができたりする力を養う必要がある。
教材・支援機器活用	使用した教材・支援機器の名称	<div style="text-align: center;"> <p>校歌の歌詞</p> <p>教材の写真</p> <p>卒業式</p> <p>参加する際の「約束」</p> </div>
	活用のねらい	○活動の内容や、約束事を確認するとともに、メモ帳アプリを使って本人の意思確認をすることができるため、活動に主体的な参加を促すことができる。
授業における支援・教材の配慮	<p>○パワーポイントのスライドをPDFファイルとして提示することで、手元で内容を確認できるようにする。</p> <p>○生徒の実態によっては、画面を自分で操作する機会を作ることで、気持ちを切り替え、最後まで集中して活動に参加できるようにする。</p>	
子どもの変容や評価	<p>○繰り返して用いることで、生徒本人が有用性を自覚することができた。</p> <p>○機器の操作にも慣れ、見通しを持って落ち着いて活動に参加することができるようになり、内容の充実も図られた。</p>	